

目 次

研究班の構成	-----	1
I. 総括研究報告		
水道事業の流域連携の推進に伴う水供給システムにおける 生物障害対策の強化に関する研究	-----	3
秋葉道宏		
II. 分担研究報告		
1. 状態空間モデルを用いたダム湖における 藻類異常発生予測モデルの構築	-----	13
秋葉道宏, 西村修, 今本博臣, 佐野大輔, 三浦尚之		
2. 海外におけるアオコ等の水質汚濁対策の検証等	-----	19
柳橋泰生		
3. カビ臭原因物質産生藍藻類のライブラリー構築へ向けた 全国水道水源での存在実態調査	-----	27
秋葉道宏, 藤本尚志, 浅田安廣, 江崎敦		
4. 精密分析による水道水原水中溶存有機物の特性解析	-----	39
秋葉道宏, 越後信哉		
5. 粉末活性炭による2-MIB吸着に対する競合有機物成分の推定	-----	49
秋葉道宏, 浅田安廣, 神里良太		
6. 高分解能質量分析計を用いた水道水生ぐさ臭原因物質の探索	-----	57
秋葉道宏, 高梨啓和, 小倉明生, 北村壽朗		
7. 流域モニタリングネットワークのための 簡便な生物障害検出方法の構築	-----	67
秋葉道宏, 清水和哉, 藤本尚志, 高梨啓和		
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	-----	77

